

自転車競技部 大阪総合体育大会(ロードの部) 結果報告

大会日 令和6年9月7日(土)

会場：堺浜 海とのふれあい公園

参加者 3年生 岩本・倉地

2年生

1年生 矢邊・安田・吉井

秋の舞洲大会は、1年生が中心に出場する、高校生の部と2～3年生が出場するJCF登録高校生の部があり、本校からはJCF登録登録高校生の部に2名、高校生(1年生の部)に3名の選手が出場しました。

大阪総体の得点は、JCF登録高校生の部の結果が反映されます。

大会結果

高校生の部(1年生中心)

参加者 13名

0.95km×15周=14.2km

1年生3名が出場。3名ともレース序盤から積極的に前に出る展開で、4周目には4名の先頭集団が形成された。この4名に2名の本校生徒が入り、4名を追走する2名に1名が入る展開で、レース中盤にはこの6名のトップ争いとなる。

残り7周回あたりで先頭集団は3名となり本校の2名と他校の1名との優勝争いになるかと思われたが、残り5周回で矢邊が実力通り一人で抜け出した。ここで、腰痛のため吉井が先頭から遅れ、残り2周でリタイア、矢邊はそのまま逃げ切り優勝、3位には粘り強く走った安田が入り、出場3名のうち2名が賞状と副賞を獲得した。



優勝 矢邊 3位 安田 途中棄権 吉井

JCF高校生の部（大阪総体ロードの部）

参加者 42名

0.95km×25周=23.7km

3年生2名が出場。酷暑の中、14時40分スタート。全日本Jrロードチャンピオンや実業団Jrトップの選手など全国レベルの選手が多数参加する大会で、集団のスピードは自然と上がる。スタートして10周ぐらいで集団は25名程度に絞られるも、本校の2名は順調に周回を重ねている。

レース中盤には倉地が堺高校の選手と逃げを打つが決まらず。その後も集団から逃げ出そうとする選手が入れ代わり立ち代わり現れ集団のスピードは落ちない。徐々にドロップアウトする選手が現れる中、倉地は再び逃げを打つが決まらず、ハイスピードのまま残り2周。

ここでも倉地は積極的に前をうかがうが、残り1周で足がつって万事休す。岩本は先頭集団の中盤から何とか追い上げ、全体の7位入賞

大阪高体連の大阪総体の部では6位となり学校対抗4位の賞状を手にする事となりました。



岩本 7位

倉地 20位

大阪総体学校対抗総合
4位

ご声援ありがとうございました